

## 精神科薬剤師ボランティア報告

### 舞子浜病院【松田公子】

2011.3.19・日病薬より支援依頼

「精神科病院で業務実績のある薬剤師を「磐城済世会舞子浜病院」へ行っていた  
ただく薬剤師を早急に募っていただくよう、精神科病院薬剤師ネットワーク  
を活用してお願いします。」

- ・日病薬全国精神科薬剤師担当者メーリングリストを使ってボランティア募集

2011.3.20 3月22・23日の他院からのボランティア確保は困難と判断し、当院(浅井病院)  
の了解が得られたため、準備開始。

- ・東金警察(千葉県)に「緊急通行車両確認証明書」の発行依頼⇒21日取得  
必要書類 1. 車検書コピー、2. 免許書コピー、3. 救援の状況を証明するもの、  
4. 印鑑等

- ・山武薬剤師会(千葉県)に支援用物資の供給を依頼⇒段ボール12箱分が届く
- ・当院から持参する物品準備  
(白衣、今日の治療薬、消毒剤、マスク、ゴム手袋、ボールペン、マジック、  
はさみ、輪ゴム、セロハンテープ等)

2011.3.21 ・ガソリン準備

- ・食料、飲料水準備
- ・寝袋、洗面用具、寒さ対策も考慮した着替え等生活用品準備
- ・被災地の昼食準備(南瓜の甘煮、唐揚げ、ポテトフライ、マカロニサラダ、鳥  
肉となすとピーマンの炒め物、おにぎり等)

2011.3.22

4:00 東金出発(途中の高速道路は亀裂・段差あり、速度注意)

9:30 舞子浜病院到着

- ・4階の病室を薬局として使用しているため、物資を4階まで手作業で搬送
- ・その後、既に調剤されていた定時薬・臨時薬の監査業務開始  
(監査を実施することで、舞子浜病院の調剤業務の流れを把握する事につながった)

13:00 臨時処方・定期処方(舞子浜病院及び関連老健施設)の調剤、監査

調剤状況

- ・薬品は遅れながらも入庫あり
- ・明星大学から学生実習用分包機を借りる事ができ、30包までの分包は可能
- ・処方は全て手書き(システムダウンのため)
- ・散剤やつぶし処方が多い
- ・分包後、一包毎に患者名を手書きする
- ・薬袋も手書き
- ・オーダーリングに移行していたため手書き処方せん用の紙そのものが不足

- ・ 1人薬剤師と2名の助手で調剤を行っていたが、薬局長が他の役割も兼任しているため調剤業務のための時間確保が困難であった⇒ボランティア薬剤師の腕の見せ所
- ・ 薬局スタッフとのコミュニケーションを上手にとることで、情報が得られやすかった(特に助手の方々はボランティア薬剤師に対し遠慮がちです)
- ・ 昼食時には、午後の業務確認を行った。(全員がそれぞれの仕事を理解する目的で)

2011.3.22

9:00 臨時処方・定期処方(舞子浜病院及び関連老健施設)の調剤、監査

13:00 臨時処方・定期処方(舞子浜病院及び関連老健施設)の調剤、監査  
薬局内に入庫した薬品の整理、散剤の充填等を行った

17:45 舞子浜病院出発

23:00 東金着

ボランティア活動から学んだ事

・ ボランティア活動を継続していくためには、ボランティアを受ける施設側の作業手順を遂行しなければならないと思います。そのためにはその病院の作業手順を把握する事が重要です。病院薬剤師のボランティア活動を監査から始められた事は、作業手順の把握に有効でした。

・ 各スタッフの役割を知ることが必要です。助手の方も、重要な助っ人です。教えて頂く事も多いと思います。逆にその方にどこまで仕事を任せて良いかの判断も必要かもしれません。

・ 施設内の処方せんの流れをできるだけ把握しましょう。仕事の予想がつきやすくなります。

・ 被災地に頼る事は困難です。自分の衣食住は自分で確保して下さい。又、交通手段も整えてから向かって下さい。

・ 暖房がありません。室内も寒さ対策が必要です。特に足元、ジンジンと冷えてきます。

・ ガス・水道が復旧していません。

・ 仮設トイレが屋外に8台用意されています。手等の清潔を保持するためのウエットティッシュが必要です。

・ ドライ食品は支援物資として届いていますが、長期戦となると普通のおかずが食べたくなるようです。(車移動の支援者の方よろしくお願いします)

・ 昨日(3月23日夕)時点で不足していると考えられた物品を挙げておきます。

薬包紙・輪ゴム・ガムテープ・秤量皿・乳鉢、乳棒、スパーテル・ガーゼ・処方せん用紙(現在手書き対応を行っています)・白衣。

日用品では・割り箸・水・紙コップ等です。

以上ですが、今後ボランティアで向かわれる先生方に情報を追加していただければ幸いです。